



Future Venture Capital

株主通信

第 23 期

(2020年4月1日～2021年3月31日)



株主の皆さまには、平素より当社事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第 23 期の当社の取り巻く環境及び活動状況をご報告申し上げます。

当期の新規上場市場は、99 社と前年同期の 99 社と同数を達成したものの、新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念から、上場中止・延期が 8 社と急増しており、新規上場を目指す企業群にとっては厳しい環境が形成されております。一方ベンチャー投資環境では、大企業にとってオープンイノベーションは必須の戦略となっており、CVC ファンドの設立取り組み促進のニーズも高まってきております。

このような環境の中で、当社におきましては、ファンドの管理報酬を主軸とする安定収入の獲得に向けて新規ファンドの設立に注力してまいりました。その結果、CVC ファンドとして、2014 年に設立したブリッジベンチャーファンド 2014 の後継ファンドとして投資事業有限責任組合ブリッジベンチャーファンド 2020 を設立、またテーマファンドとして鎌倉信託株式会社他と共同で創発の蒼 1 号投資事業有限責任組合を設立、さらには地方創生ファンドとして、株式会社豊和銀行と共同でほうわ創業・事業承継支援投資事業有限責任組合を設立、京都信用金庫、京都中央信用金庫と共同で、京都市、日本政策金融公庫、京都リサーチパーク株式会社の連携・協力を得て京都市スタートアップ支援 2 号投資事業有限責任組合を設立いたしました。また、当社の連結子会社である FVC Tohoku 株式会社は、もりおか起業投資事業有限責任組合の後継ファンドとして盛岡信用金庫と共同で SDGs の 17 ゴール及び社会課題の解決を投資テーマにもりおか SDGs 投資事業有限責任組合を設立いたしました。(3-4 頁参照)

これらの取り組みを進める一方、いわゆるクラシカルなベンチャーキャピタル業務からイノベーションとリスクマネー供給のためのプラットフォーム会社へと事業モデルの変革に取り組んで参りましたことに加えてファンドから受領する管理報酬を中心とした安定的収入で固定経費を賄うことができるようになり、新規上場のみに依存しないビジネスモデルを確立いたしました。

その結果当連結会計年度における、売上高は 860 百万円（前連結会計年度 454 百万円）と増収、営業損失は 14 百万円（同 102 百万円）と赤字幅が縮小、経常利益は 94 百万円（同 14 百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は 20 百万円（同 37 百万円の当期純損失）と、黒字に転換いたしました。(6-7 頁参照)

今日に至るまで支えていただいた株主の皆さまには、改めて感謝申し上げます。今後も、当社のミッションである「100 年継続企業を創る」を達成するために、永続的な成長を目指してまいります。

引き続き、株主の皆さまには変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第 23 期の振り返り

新設ファンド

第 23 期において、CVC ファンドを 1 本、テーマファンド 1 本、地方創生ファンドを 3 本設立しました。

ブリッジベンチャーファンド 2020 (CVC ファンド)

正式名称	投資事業有限責任組合ブリッジベンチャーファンド 2020
ファンド総額	300 百万円
設立日	2020 年 7 月 1 日
組員構成	有限責任組員：事業会社 無限責任組員：FVC
運用期間	10 年
投資対象	国内外の未上場企業の株式等への投資

創発の答ファンド (テーマファンド)

正式名称	創発の答 1 号投資事業有限責任組合 (特定投資家向け私募)
ファンド総額	最大 2,500 百万円
設立日	2021 年 3 月 31 日
組員構成	有限責任組員：サイボウズ株式会社、ソウルアウト株式会社、株式会社北國銀行、株式会社横浜銀行 無限責任組員：鎌倉投信株式会社、FVC
投資対象	社会に変革し得る大きなビジョンがある国内の起業家・事業の未上場企業の株式等への投資

ほうわ創業・事業承継支援ファンド (地方創生ファンド)

正式名称	ほうわ創業・事業承継支援投資事業有限責任組合
ファンド総額	300 百万円
設立日	2020 年 6 月 22 日
組員構成	有限責任組員：株式会社豊和銀行 無限責任組員：FVC
運用期間	8 年まで (最長 2 年の延長可能)
投資対象	有限責任組員の営業エリアに本社又は拠点を持つ、創業期の企業・第二創業に取り組む企業、事業承継を必要とする企業、その他地域経済の活性化に資する企業

京都市スタートアップ支援 2 号ファンド (地方創生ファンド)

正式名称	京都市スタートアップ支援 2 号投資事業有限責任組合
ファンド総額	260 百万円
設立日	2020 年 9 月 30 日
組員構成	有限責任組員：京都信用金庫、京都中央信用金庫 無限責任組員：FVC
運用期間	10 年 (最長 2 年の延長可能)
投資対象	京都市エリアに本社又は拠点を持つ、創業・第二創業に取り組む企業 SDGs に基づく社会課題解決に寄与する企業、地域経済の活性化に資する企業

もりおか SDGs ファンド（地方創生ファンド）

正式名称	もりおか SDGs 投資事業有限責任組合
ファンド総額	198 百万円
設立日	2021 年 1 月 15 日
組員構成	有限責任組員：盛岡信用金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町 無限責任組員：FVC
運用期間	10 年（最長 2 年の延長可能）
投資対象	盛岡広域、岩手県北地域に本社又は拠点を置く企業 SDGs の 17 ゴールの達成及び社会課題の解決に寄与する企業

新規上場企業のご紹介



かんしん未来ファンド、ウィルグループインキュベートファンドより
出資した KIYO ラーニング株式会社が 2020 年 7 月 15 日、マザーズ
に上場しました。

所在地	東京都千代田区
事業内容	個人向けオンライン資格講座及び法人向け社員教育クラウドサービスの提供
株式比率	かんしん未来ファンド 3.70% ウィルグループファンド 2.67% 両ファンドを合わせると VC としては第 2 位の比率



おおさか社会課題ファンドより出資した株式会社 i-plugin が 2021 年 3 月
18 日、マザーズに上場しました。

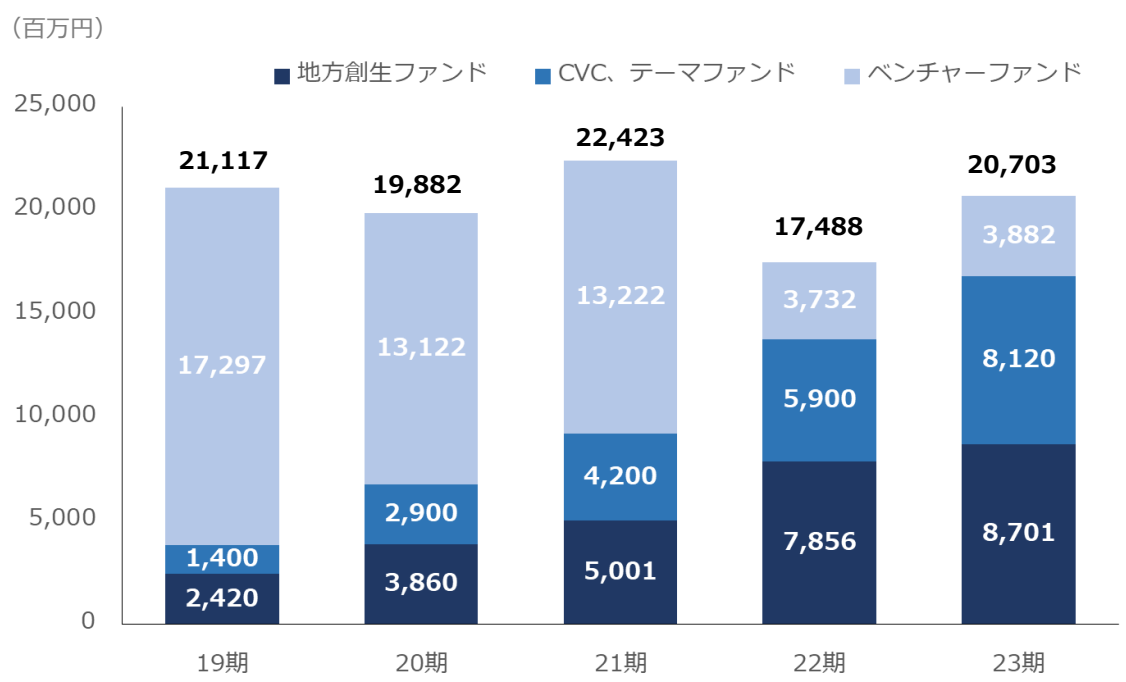
所在地	大阪府大阪市
事業内容	新卒逆求人サイト「OfferBox（オファーボックス）」シリーズの運営
株式比率	おおさか社会課題ファンド 1.70%

23 期の取り組み

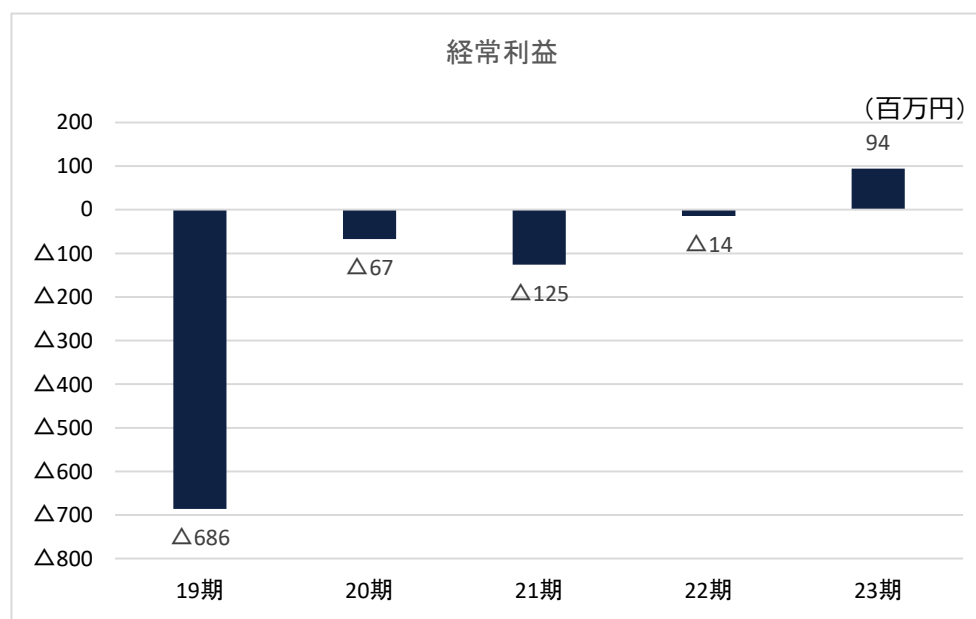
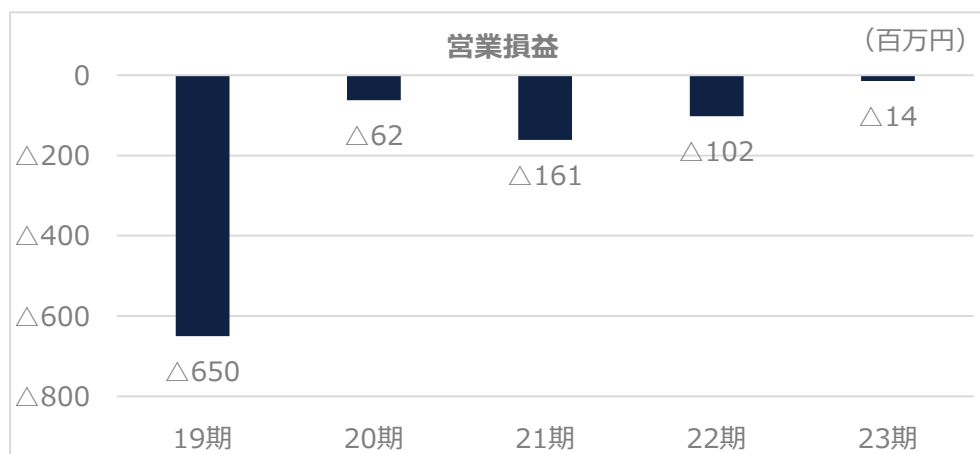
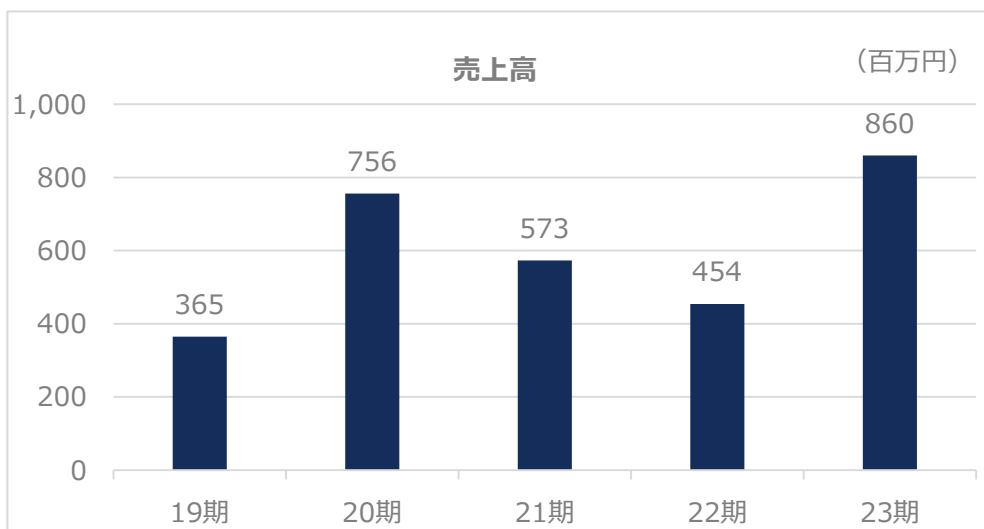
当期の最重要課題は、安定収益源確保のために、ニーズの高さを見せる「地方創生ファンド」と「CVC ファンド」「テーマファンド」の新規設立の促進、ファンドの新規設立件数を拡大するために、人材強化と営業戦略の再構築を実施、さらにはベンチャー企業への支援メニューの拡充と、ファンド運営の効率化を図るための新たなプラットフォームを構築してまいります。

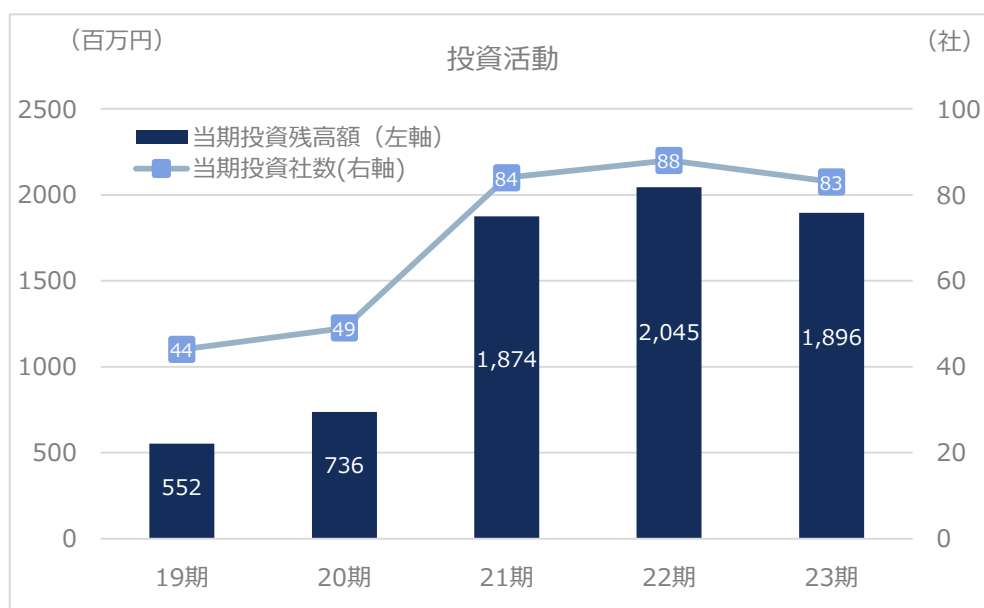
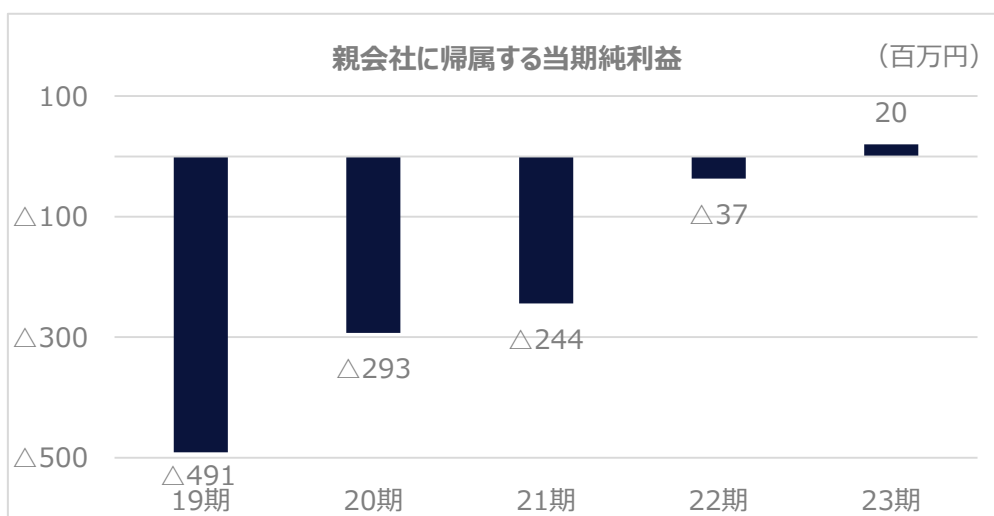
ファンド運用状況の推移

CVC/テーマファンドは順調に増加致しましたが、地方創生ファンドはコロナ対策優先で金融機関とのファンド設立が遅れ 845 百万円の増加に留まりました。



業績ハイライト





当期投資社数は、83 社、当期投資額は、1,896 百万円で、当期上期はコロナ対策により投資がストップしたものの、徐々に回復し、下期は新規ファンド設立もあり、投資社数/額は、堅調に推移しております。

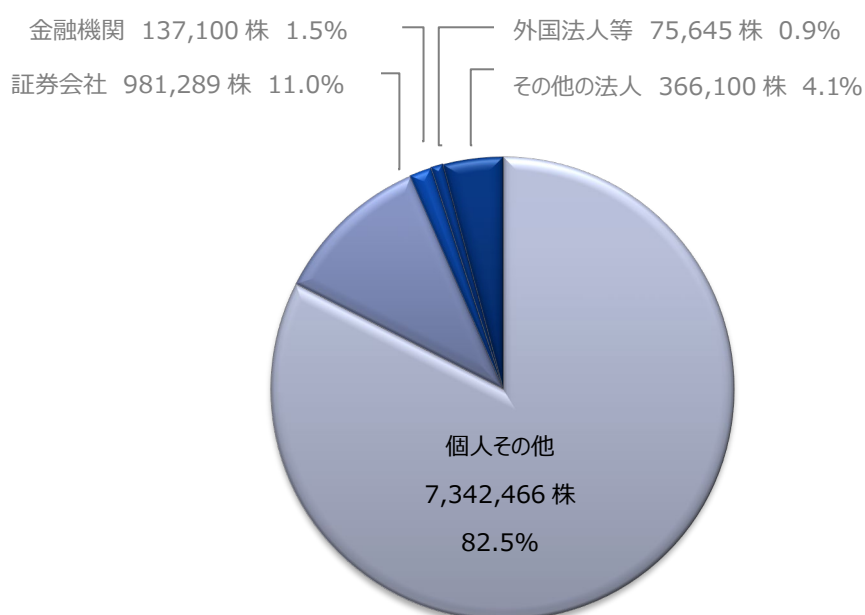
このような状況の中、売上高は運用ファンドの増加や EXIT による成功報酬の獲得、未上場株の売却等により 860 百万円（前連結会計年度 454 百万円）と増収、営業損失は 14 百万円（同 102 百万円）と赤字幅が縮小、経常利益は 94 百万円（同 14 百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は 20 百万円（同 37 百万円の当期純損失）と、黒字に転換いたしました。

株式データ

株式数および株主数

・会社が発行する株式の総数	18,000,000 株
・発行済株式数	8,902,600 株
・株主数	8,394 人

所有者別株式分布表



大株主の状況

株主名	所有持株数	持株比率
株式会社 SBI 証券	434,700 株	4.88%
楽天証券株式会社	219,100 株	2.46%
日本証券金融株式会社	113,600 株	1.28%
マンティス・アクティビスト投資 1 号株式会社	100,000 株	1.12%
松井証券株式会社	91,500 株	1.03%
土師 裕二	60,000 株	0.67%
サイブリッジ合同会社	57,700 株	0.65%
GMO クリック証券株式会社	56,200 株	0.63%
長倉 貴子	48,500 株	0.54%
渡邊 定雄	45,000 株	0.51%

会社概要

社 名 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
設 立 1998年9月11日
資 本 金 1,500百万円
従業員数 36名(連結)
本 社 〒604-8152
京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 659番地 烏丸中央ビル
TEL.075-257-2511 (管理部) 075-257-6656 (営業部門)
FAX.075-211-1601

東京営業所 〒106-0032
東京都港区六本木7丁目15番7号 新六本木ビル SENQ 六本木
TEL.03-6262-5367

愛媛事務所 〒790-0012
愛媛県松山市湊町4丁目5番6号 プロGRESS松山
TEL.089-915-3677 FAX.089-913-2750

FVC Tohoku 〒020-0022
株式会社 岩手県盛岡市大通3丁目6番12号 開運橋センタービル3階
TEL.019-606-3558 FAX.019-606-3568

役員

代表取締役社長	松本直人	取 締 役	塩本洋千
取 締 役	藤野宙志	取 締 役	宗正浩志
取締役監査等委員	宮田秀典	取締役監査等委員	北條明宏
取締役監査等委員	小尾一介		

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	株式会社アイ・アール ジャパン
同連絡先	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 株式会社アイ・アール ジャパン 証券代行業務部 TEL.0120-975-960 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ 市場
証券コード	8462
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.fvc.co.jp/

(ご注意)

株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（株式会社アイ・アール ジャパン）ではお手続きできませんのでご注意ください。